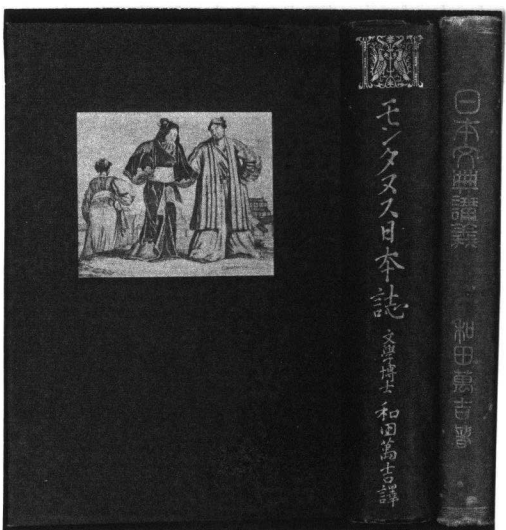


和田萬吉 和 國文學・書誌學・圖書館學者、文學博士。慶應元年八月十八日美濃國大垣生れ。昭和九年十一月二十一日歿（二六五—一九三三）。筆名わだのちゆみ、万、千子、千翁、和生、和田、和田万、和田千子、和田愛子、和田舟重、和田生、困生、無住沙彌愛、率庵、舟重、舟重生、萬等。明治二十二年帝國大學文科大學國文學科卒。學習院教授、帝大圖書館館長を経て歐米留學。歸國後東京帝大教授。その後、東京商科大學豫科、國學院大學、東洋大學の教鞭を執る。日本文庫協會創設の盡力（のうち日本圖書館協會）。

著書に『國文學小史』（永井一孝共著、明治二十一年十二月二十日松村九兵衛・吉川半七刊、教育書房）、『日本文典講義』（明治二十八年十一月十八日早稲田大學出版部）、『和田万吉博士の今沢慈海氏宛書翰集（抄）』（弥生日光長・乗原均編、昭和六十年十月五日日本図書館協会「日本図書館協会百年史・資料」）等。譯書に、ウイリアム・

エス、ジエヴォンズ著 増訂『普通論理學』（増訂再版、明治二十六年十月五日自照書房）、カール・プレッツ著『世界通史』（明治二十一年九月八日富山房）、『新西洋笑府』（和田千子各、北澤樂天畫、明治四十年七月一日有樂社）、『モンタヌス日本誌（一名蘭使紀行）』（大

正十四年二月二十五日丙午出版社）等。以下、岩波書店「岩波文庫」校訂、近松門左衛門作『國性爺合点戰・鎧の権二重帷子』、『誓我會稽山・心中天の網島』（以上昭和二年八月



- 一白刊)、井原西鶴作『好色一代男』、『好色五人女』、『好色一代女』(以上昭和二年十月十日刊)、『日本永代藏』、『世間胸算用』(以上昭和二年一月五日刊、教科書版・七年四月十日刊)、『西鶴織留』(昭和二年五月十日刊)、式亭三馬作『浮世床』(昭和二年十月五日刊)、『浮世風呂』(昭和二年十一月五日刊)、十返舎一九作『東海道中膝栗毛』(昭和二年十一月十日刊)、井原西鶴作『武家義理物語』(昭和四年一月二十五日刊)、曲亭馬琴作『胡蝶物語』(昭和四年七月二十五日刊)、『椿説弓張月』全三冊(上巻・昭和五年八月一日、中巻・六年一月二十五日、下巻・二月十日刊)、井原西鶴作『武道傳來記』(昭和七年八月五日刊)、『西鶴諸國咄・本朝櫻陰比事』(昭和七年十一月十五日刊)。